

【第2学年】 E 球技 「イ ネット型 バレーボール」

単元目標		知識及び技能	バレーボールについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができるようにする。 ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。												
		思考力、判断力、表現力等	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。												
		学びに向かう力、人間性等	球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
学習の流れ		出席確認 健康・安全の確認 準備運動													
	10	反復練習(キャッチボール・ボール慣れ・片手パス・対人パス)													
	20	・単元目標 ・見通し ・学習カードの確認	お手本映像の視聴	スモールステップ① レベル別の練習方法を提示する			【スパイク練習】 空いている場所に落とす				リーグ戦				
												アンダーハンドパス練習	【個別練習】 ・オーバーハンドパス ・アンダーハンドパス 二つの技術の中で自分の課題にあった練習方法を考える。		
	30	ボール慣れ パス練習 ・片手パス ・対人パス ・キャッチパス ・ワンバウンドパス	課題把握のためのICT活用 ・自分の動きを確認するために動画撮影をする	成果の確認とゲームの目標設定			成果の確認とゲームの目標設定								
	40		試しのゲーム								【円陣パスゲーム】 1チーム5～6名	【ミニゲーム】 ・アンダーのみ ・オーバーのみ			【ミニゲーム】
50	片付け・振り返り 時間外の課題確認 学習カード(ロイロノート)での振り返りと次回への見通し										単元のまとめ				
指導	知識	①行い方									総括的評価				
	技能		①パス		②返球			③オフボール							
	思考・判・表					①練習選択			②相互理解						
	態度	①共生													
評価	知識	①行い方									総括的評価				
	技能			①パス			②返球			③オフボール					
	思考・判・表					①練習選択			②相互理解						
	態度				①共生			①共生							
評価規準		知識	技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度						
		①球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて言ったり書き出したりしている。(行い方)	①味方が操作しやすい位置にボールをつなぐことができる。 ②相手側コートの空いた場所にボールを返すことができる。(返球) ③ボールを打ったり受けたりした後、ボールや仲間に正対できる。(オフボール)			①提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。(練習選択) ②体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け、仲間に伝えている。(相互理解)			①一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとしている。(共生)						